

第74回

東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 プログラム



日時 2026年8月1日(土) 12:30～16:30

会場 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

内ヶ島講堂(東棟2F)

当番世話人

吉岡 裕一郎(一般消化器外科)

福山 直美(看護部)

第74回

東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会

日時 2026年8月1日(土) 12時30分～16時30分

会場 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
内ヶ島講堂(東棟2F)

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35
TEL:052-481-5111(病院代表)

参加費 1,000円

交通のご案内(公共交通機関をご利用下さい)

※駐車券サービスは行っておりません

- ・ 地下鉄東山線「中村日赤駅」直結
- ・ 名古屋駅より地下鉄東山線で約4分

病院へのアクセスマップ



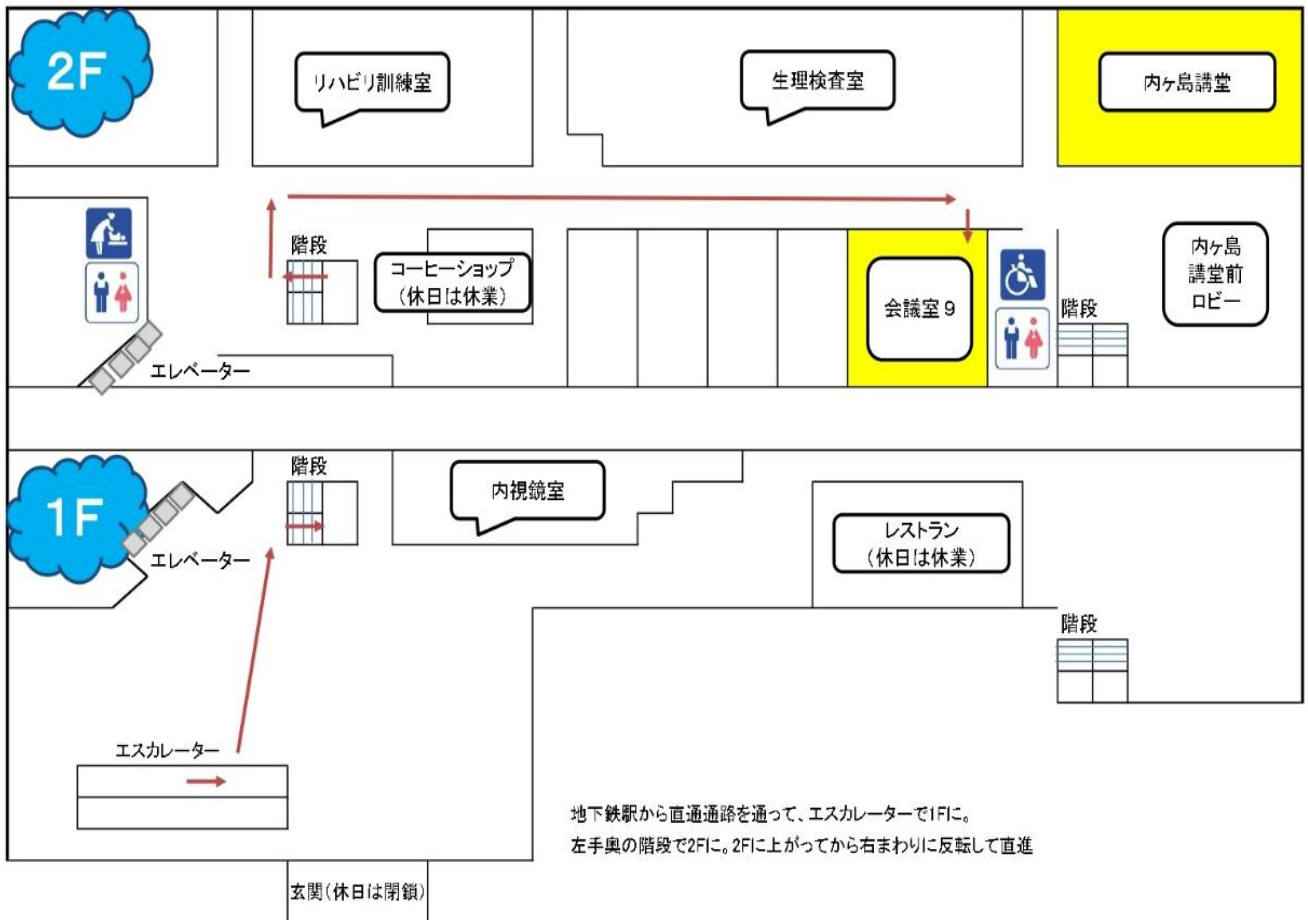
- ・ 地下鉄東山線「中村日赤」下車
- ・ 市バス・名鉄バス「大門通西」下車

会場案内

内ヶ島講堂(東棟 2F)

地下鉄「中村日赤駅」から病院へ入り(B2F になります)、

1. エスカレーターで 1 階へ
2. 左手奥の階段で 2 階へ
3. 2 階に上がった後、右方向に進み内ヶ島講堂へお越しください。



ご案内

発表者へのご案内

※発表形式はPCプロジェクター1台のみで、用意いたしますPCはWindows版PowerPointのみとなります。事前に作動性をご確認願います。

※発表データはUSB メモリーにてご持参ください。データファイル名に演題番号とお名前を付けてください。

※発表の 30 分前までに演題受付をお済ませください(受付は11時30分から開始します)。

※Macでの発表の方、Macintoshにて作成したデータファイルの発表はPC本体持ち込みのみとさせていただきます(メディアでのデータ持ち込みはできません)。直接会場までPCをご持参ください。演題受付でお申しつけください。

※発表時間

主題演題・一般演題とも：発表時間 6分、討論 2分

(例年より発表時間が短くなっていますのでご注意ください)

原稿依頼について

発表者の方には、当日(論文執筆依頼)を演題受付にてお渡しします。

施設代表者・世話人の方へ

世話人会を11時30分から(12:15までの予定)東棟2F 第9会議室(会場への順路の途中にあります)にて行います。

例年より開始が30分早くなっています。

ご参加の皆さんへ

1年で最も暑い時期です。カジュアルな服装でご参加ください。

公共交通機関でのご来場にご協力ください。駐車券サービスは行っておりません。

会場内では携帯電話をマナーモードに設定くださいますようお願いいたします。

休憩時間には、ドリンク・お菓子をご用意しております。どうぞご利用ください。

連絡先

吉岡裕一郎(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 一般・消化器外科)

E-mail: y-yoshioka0707@outlook.jp

プログラム

◇開会の辞(12:30-12:35)

【一般演題 ストーマ造設・管理・指導】(12:35-13:23)

座長：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 一般・消化器外科 小林龍太郎
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部 伊藤真粧美

1. 人工肛門周囲後出血による圧迫壊死で緊急再造設術を施行した胃癌腹膜再発の1例
愛知県がんセンター 消化器外科部¹⁾
愛知県がんセンター 看護部²⁾
小森康司¹⁾、木下敬史¹⁾、大内晶¹⁾、岸田貴喜¹⁾、安形真由美²⁾、佐々木照²⁾、小島瞳²⁾
2. 高齢者のStageⅣ直腸癌に対してストーマ造設後、繰り返すストーマ脱出に対するボタン固定術を施行した一例
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 一般・消化器外科
後藤亮太郎、吉岡裕一郎、永井英雅、柴田耕治、蟹江恭和、小林龍太郎、山川ありさ、奥田悟之、小倉楓、三宅秀夫
3. ストーマに連結する巨大潰瘍内に小腸瘻を形成した患者の創傷ストーマ管理の経験
愛知医科大学病院 皮膚・排泄ケア外来¹⁾ 消化器外科病棟²⁾ 消化器外科学講座³⁾
江上直美¹⁾、万戸千晶²⁾、古市充悠²⁾、貝瀬梨絵²⁾、安藤公隆³⁾、深見保之³⁾
4. ストーマ装具貼付に難渋する消化管ストーマの管理方法
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部
福山直美
5. 腹直筋切離を伴うダブルストーマ造設患者の看護
～ストーマサイトマーキングから退院支援まで～
愛知医科大学病院 消化器外科病棟¹⁾ 消化器外科外来²⁾ 皮膚・排泄ケア外来³⁾
万戸千晶¹⁾、野村美月¹⁾、福井優希¹⁾、貝瀬梨絵¹⁾、平陽子²⁾、江上直美³⁾
6. 人工肛門造設となる壮年期がん患者に対する早期ストーマ手技獲得のための術前模擬体験
岐阜大学医学部附属病院 看護部
黒田亜紀、渡邊里香、田邊良美

【休憩】(13:23-13:35)

◇次回当番世話人挨拶(13:35-13:40)

【主題 ライフスタイルに応じたストーマ・排泄ケア(Ⅰ)】(13:40-14:20)

座長: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部 福山直美
静岡県立こども病院 看護部 中村雅恵

7. ライフスタイルの変化を余儀なくされたストーマ保有患者への継続支援

蒲郡市民病院 看護局¹⁾ 消化器外科²⁾

藤田順子¹⁾、杉本佐和子¹⁾、竹内優紀¹⁾、杉浦弘典²⁾、長崎高也²⁾、佐藤幹則²⁾

8. 認知機能低下した患者のストーマケアに対し認知症サポートチームと連携した症例

西尾市民病院 看護部¹⁾ 外科²⁾

杉浦裕美¹⁾、長谷部純子¹⁾、平岩彩菜¹⁾、余語華代¹⁾、原田泰輔²⁾、中野辰哉²⁾、
松本奈々²⁾、鳥井恒作²⁾、鈴木章弘²⁾、荘加道太²⁾、藤竹信一²⁾

9. パウチング困難な腸管皮膚瘻症例における創傷管理とADL向上への取り組み

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部(消化器外科病棟)

大倉 優、森田真衣、高橋泰代、吉田朝美

10. ストーマ造設患者の個別ニーズに対応した退院調整

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 医療社会事業部

辻村優香

11. 人工肛門造設患者に対する退院後訪問の実践

～ストーマ異常の早期発見に繋がった一事例～

藤田医科大学病院 看護部 A-6S病棟

徳久聖香、行本幸希、種中祥子

【休憩】(14:20-14:30)

【主題 ライフスタイルに応じたストーマ・排泄ケア(Ⅱ)】(14:30-15:10)

座長: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 一般・消化器外科 吉岡裕一郎

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 医療社会事業部 辻村優香

12. JOA愛知県支部2026年度現況調査にみるオストメイトのライフスタイルの特徴

JOA 愛知県支部医療アドバイザー・WOCN¹⁾

JOA 愛知県支部顧問医²⁾

清政一二三¹⁾、前川厚子¹⁾、榊原由美子¹⁾、池戸美奈¹⁾、小森康司²⁾、後藤百万²⁾、
柴田佳久²⁾、加藤知行²⁾、丸田守人²⁾

13. 沖縄県におけるオストメイトの動向と生活の特徴

沖縄県立看護大学 在宅保健看護

前川厚子

14. その人らしさと向き合うストーマ管理

ハンズ訪問看護ステーション¹⁾

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 医療社会事業部²⁾ 看護部³⁾

中島なぎさ¹⁾、辻村優香²⁾、福山直美³⁾

15. 先天性聴覚障害・非識字を有する独居オストメイトの地域生活を支えた訪問看護の実践

名古屋市中村区訪問看護ステーション¹⁾

名古屋市療養サービス事業団 在宅療養部²⁾

高木優子¹⁾、鈴木祐紀¹⁾、久保菜名¹⁾、中村忍¹⁾、村井満美子²⁾

16. 排泄ケアを要する患児の自立支援

ーセルフケアの必要性を自覚したタイミングを捉えた介入の1例ー

あいち小児保健医療総合センター 看護部¹⁾ 泌尿器科²⁾ 整形外科³⁾

中山 薫¹⁾、西川敬子¹⁾、久松英治²⁾、鬼頭浩史³⁾

【展示閲覧】(15:10-15:30)

【会計報告 他】(15:30-15:40)

◇令和7年度庶務報告(研究会事務局)

【特別講演】(15:40-16:30)

座長: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部 福山直美

パラカヌー日本代表選手 加藤 隆典 氏

「どう生きるか」

～車椅子オストメイトアスリートの経験から～

◇閉会の辞

【展示】(12:00-17:00)

会場: 内ヶ島講堂前ロビーなど

出展メーカー(50音順)

- ・ アルケア株式会社
 - ・ 株式会社エム・ピーアイ
 - ・ コロプラスト株式会社
 - ・ コンバテックジャパン株式会社
 - ・ ソリュウション株式会社
 - ・ ピースケア株式会社
 - ・ 株式会社ホリスター ダンサック営業部
 - ・ 株式会社ホリスター ホリスター営業部
 - ・ 株式会社八神製作所
-